

大学へのご支援ありがとうございます

星槎道都大学 開学45周年記念事業寄附金にご賛同を賜り、心より厚く御礼申し上げます。
ここに感謝の意を表し、ご芳名を掲載させていただきます。

寄付者ご芳名 期間：2023年7月1日～2023年11月15日までご入金分（敬称略・お申込順）

〈保護者〉 菊地 和枝 兒玉 雅人 本間 克朗 鈴木 英雄 東原 弘行 坂本 弘章
中島 卓宏 作田 識安 溝江 秀一 高橋友美恵 杉山 修 中西 敏之
武田 裕二 小泉 陽輔 藤田 節男 津田 真理 笥田 雄一 野瀬 高志
奥本 貴史 相馬美奈子 鈴木 重充 岸田 典秀 中川 泰宏 匿名 48名
平野 良 岡村 高之 八木 弘美 上野 直基 雲母由美子
中島 巖 和田 憲二 堀越 健司 安村 和哉 菅野 貴人 計 91名
道口 彩 谷田部 静 富田 恭代 渡邊 亨 中村 武夫
深渡瀬夕子 石橋 佳信 高島 光俊 穴田 健二 木村 照幸

〈在学生〉 佐藤佳唯也 〔卒業生、法人等〕 ㈱高瀬工業 取締役会長 高瀬謙二郎
花岡 脩 山田総合設計㈱ 代表取締役 山田俊幸
諸岡 柊斗 ㈱太平ホーム北海道 渡邊正美
匿名 5名 北海道相互電設㈱ 東堂 明
大塚 正登志
計 8名 木村 裕
山下 吉己
新名 規正
棟方 康明
佐藤 利彦
匿名 2名
計 12名

計 111 件 2,095,000 円

通信教育科 受講生募集

本学では働きながら資格取得を目指す通信教育を行っています。保育士資格、社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験受験資格の取得が可能となっています。レポート提出等の自宅学習と土日のスクーリング、そして実習で学びを深めます。

保育士の入学資格は高卒以上で、修了と同時に資格取得が可能となっています。大学在学中の受講も可能です。

詳細は大学のホームページ「通信教育課程」をご覧ください。生涯学習課までお気軽にお問い合わせください。

通信教育科
News



通信教育課程HP

養成課程	保育士	社会福祉士	精神保健福祉士一般	精神保健福祉士短期	介護職員初任者研修
期 間	3年	1年9カ月	1年9カ月	10カ月	4カ月
学 費	515,000円 (3年総額)	230,000円	340,000円	190,000円	50,000円
実 習 費	200,000円	150,000円	200,000円	200,000円	—
入学資格	高卒以上	大卒など	大卒など	社会福祉士など	特になし
募集地域	道内在住の方				

※別途、テキスト代が必要です。卒業生割引があります。

星槎道都大学
SEISA SEISA DOHTO UNIVERSITY

経営学部
社会福祉学部
美術学部

〒061-1196
北海道北広島市中の沢 149 番地
TEL 011-372-3111



発行日 令和5年12月22日 発行 学校法人 北海道星槎学園 編集 星槎道都大学 入試広報課

Star Rafter 2023



指名挨拶を受けた滝田くん

contents

- 02 トピックス
硬式野球部「滝田一希」選手
広島東洋カープからドラフト3位指名!!
- 04 キャンパスニュース
教員採用試験結果
北広島ふるさと祭に4年ぶりに出店!
高校生住宅設計コンクール
高校生インテリアデザインコンクール
- 06 キャンパスニュース
ゼミ発表会レポートや新工場見学
三川保育園訪問 園児とコロコロゲーム
火災警報器普及啓発キャラクターデザイン最優秀賞受賞
グランピング施設 テント組み立てワークショップ
- 08 キャンパスニュース
インタビュー
- 10 キャリアナビ
インターンシップ体験報告
私の就職活動について
- 11 その他
卒業生インタビュー



SEISA DOHTO
UNIVERSITY
vol.146
2023/12



星槎道都大学広報誌

2023年プロ野球ドラフト会議に 広島東洋カープからドラフト て硬式野球部「滝田一希」選手が 3位で指名を受けました！！



指名された瞬間



2023 春季リーグ



2023 秋季リーグ



指名当日の会見場

二宮監督(左)と滝田選手(中央)、米野野球部部長(右)

滝田投手コメント

10月26日(木)のNPB2023プロ野球ドラフト会議では、まさかこんなに早く呼ばれるとは思っていませんでした。いろいろな人に支えられてここまで成長でき、この4年間ちゃんと野球をやってきてよかったと思います。今まで会ってきた方々に感謝したいです。

広島東洋カープさんから指名され呼ばれた瞬間、昨年5月に天国へ旅立った母の「おめでとう」という声が聞こえるようでした。

その母の訃報を受けた時も昨年の札幌六大学野球秋季リーグ戦でうまくいかなかった時も、二宮監督の存在が大きく、気持ちが入った激励やアドバイスがあったからこそ、今の自分が存在していると考えます。

今後は、プロに入って、母に立派なお墓を建てられるように頑張ります。

二宮監督メッセージ

滝田投手は高校時代には全く無名の存在でした。

視察時に誰よりも目立つ一人がおり、あの全力疾走にビビッと来て、原石をスカウトしました。

入学直後はベンチ入りするものの、活躍出来ませんでしたが、地道な努力で3年春に初勝利、ソフトバンク3軍に6回を被安打2、10奪三振と好投し、注目を集めるようになりました。

しかし、3年生の春に初勝利を挙げた数日後、母親の美智子さんが他界。失意の滝田投手に、プロになって契約金で立派な墓を建ててやれと励まし、より一層奮起。

4年春には全日本大学野球選手権出場を果たし先発投手を努めるまでに成長しました。

ドラフト指名後、大変なのはプロに入ってからだぞと期待を込めて激励しました。

伊藤コーチメッセージ

滝田投手は、野球選手として必要である瞬発力など、フィジカル的な強みはあれども「人間力」が根本にあることが大きいと考えます。

物事を斜に構えて見るのではなく、素直に、かつ謙虚な姿勢から、監督やコーチからのアドバイスを吸収し、日々の練習にコツコツと取り組み、継続してきた結果が投手としての実績に繋がり、この度のドラフト会議で広島東洋カープさんから指名を受けるに至ったと考えます。

また、チーム内では最高の好敵手である伊東投手との良好な関係を保ちつつ、切磋琢磨できたことも大きいと思います。

このように周囲との関係を築いて自分を成長させることができるので、プロ野球界でも活躍することを期待しています。

北海道教員採用選考検査結果

本学では、全学科において教員養成課程を設置しており、将来の教育の現場を担う教員を輩出しております。令和5年度北海道公立学校教員採用候補者選考検査に臨んだ社会福祉学科9名のうち、8名が一次選考を通過しました。そのうち高等学校公民（政経）1名、中学校（社会）2名、特別支援学校中学部（社会）4名、特別支援学校中学部（保健体育）1名の8名全員が二次選考を通過し、採用候補者名簿に正式登録されました。4年間星槎道都大学で学んだ教職の専門的な知識や経験を活かし、人を認め、人を排除せず、仲間や生徒に愛される魅力ある教員として北海道の学校現場で活躍してくれることを心から願っています。



〈撮影日 集合の7名〉

北広島ふるさと祭に4年ぶりに出店！

まずはポスターの制作から始まった北広島ふるさと祭り、今年は4年ぶりの開催で8月5日（土）、6日（日）の2日間の日程で行われました。

デザイン学科の1、2年生（宮嶋ゼミ）40名が3つのブース内で8つのデザインワークショップやお祭りで子ども達が楽しめるような企画を考案し、参加実施しました。

2日間共にどんよりとした天候にもかかわらず本学のブースに来場して下さった人数はなんと1,000人を超えており、それぞれのグループが忙しさよりも、自分たちの考案した企画や作品などで喜んでくれている姿を見ることが何よりも嬉しかったようです。

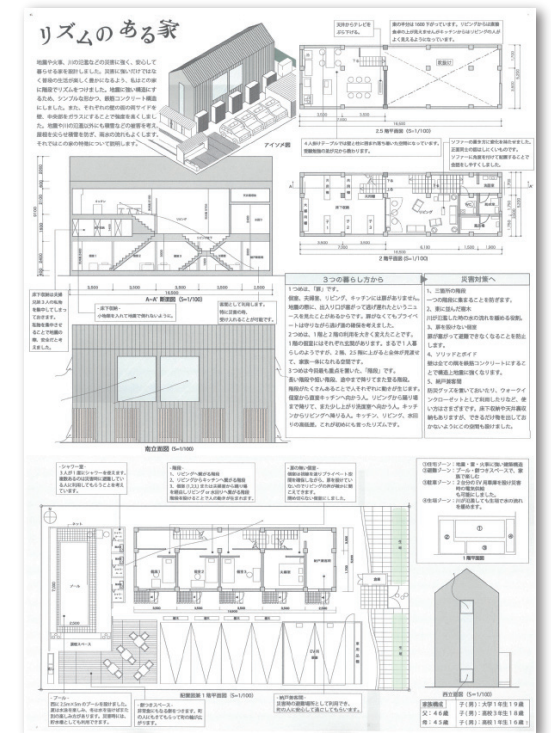
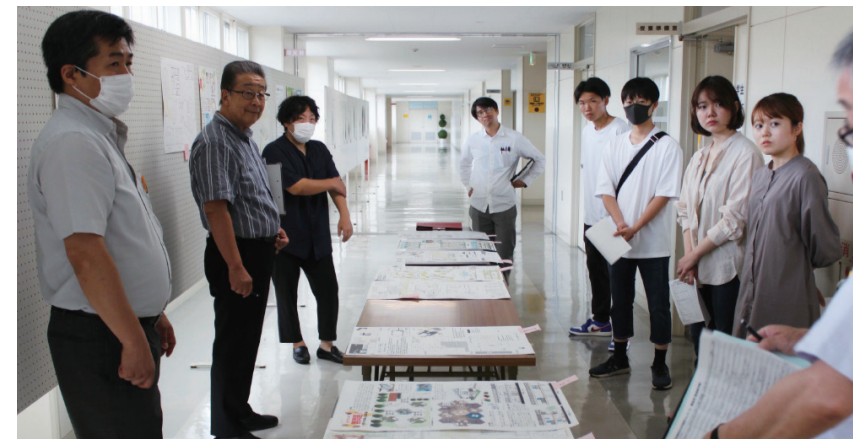
当日、想定していなかったハプニングなども臨機応変に対応しており、学内で日々接している学生たちとは違い、凛々しく見える光景などもありました。社会や地元市民の方々と接点を持つことで学生たちがより成長しているようにも感じられました。準備の段階で課題は多々ありましたが、学生たちは、やりがいや達成感を感じ、活動目標に掲げていたことが、ほぼ達成！

貴重な学びの場として提供していただいた、北海道さたひる観光協会様、経済部振興課様、北広島ふるさと祭り実行委員会様に感謝すると共にこの実践的な学びを社会に出てからも役立てて欲しいと願っております。



第20回 星槎道都大学美術学部建築学科 高校生住宅設計コンクール

第20回のタイトルは「地震、雷、火事…災いがおきても兄弟三人が安心して仲良く暮らせる家を設計してください」であります。今年は1923年9月の関東大震災から100年の節目となる年にあたります。2011年3月の東日本大震災以降も日本は多くの自然災害に見舞われております。防災意識が高まっている中、高校生の皆さんは自然災害に対する家、住まいをどのように捉えられるかどのように提案していただけるかを求めるテーマとしました。11道府県17高等学校より30作品の応募があり、厳正なる審査の結果、三重県立伊勢工業高等学校3年生の奥山桜美さんの「リズムのある家」が最優秀賞に選出されました。

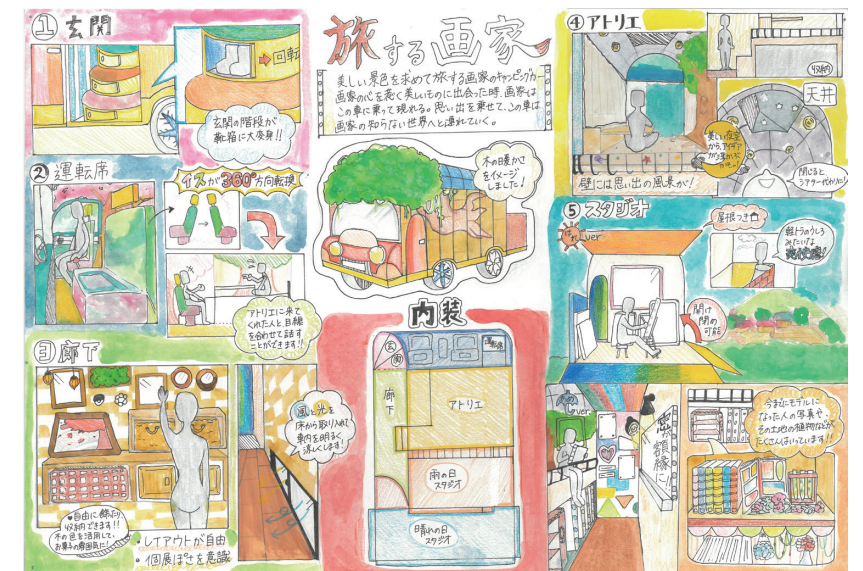


最優秀賞

三重県立伊勢工業高等学校
奥山 桜美 さん
作品名『リズムのある家』

第5回 高校生インテリアデザインコンクール

第5回高校生インテリアデザインコンクールの審査結果が発表となりました。今年のテーマは「キャンピングカーの内装をデザインしよう!」で、全国の高校生の楽しく自由な作品が数多く寄せられました。自然の中で楽しんだり、開放的なお風呂があったり、充実した設備などいろいろなアイデア作品がありました。どの作品もじっくり考えられていて、本当にあったらいいなと思うような楽しい作品ばかりでした。全作品が展示されている様子はどれもカラフルで、審査員も楽しくなるような明るい雰囲気でした。次年度のコンクールが今から楽しみです。



最優秀賞

帝塚山中学校・高等学校
植松 幸恵 さん
作品名「旅する画家」



経営学科

石山研究室では、3年生のゼミナールにおいて、UDトラックス北海道株式会社の人材確保策について研究しました。当社は、過去5年間で急激に売上を伸ばしたことで、人材が不足しており、人材確保が喫緊の課題とのことで、新卒学生を含めた人材を確保するため取り組みについてゼミナールの課題に設定しました。まずは、当社の概要を知るために社員との懇談会を実施。当社の企業概要と求められる人材像について把握した後、グループワークを重ね当社の知名度を上げるためにホームページの刷新、SNSの活用、宣伝カー、CMの作成などの意見が挙がりました。CMの作成という意見では、学生がイメージ動画を作成しました。これらを提案書としてまとめ、当社の社員に向けて自分たちの提案を発表しました。

今回の取り組みは、学生達にとって始めて触れる企業の実務的な課題であり、この経験を活かして問題解決力を養って欲しいと思います。



デザイン学科

星槎道都大学と北広島市との包括連携協定に基づく連携事業の一環として、北広島消防署の依頼で北広島市の住宅用火災警報器普及啓発キャラクターデザインの制作を致しました。北広島市は火災報知器の普及率が低いとのことで、何とか親しみのわくキャラクターをデザインして普及率をあげたいとの要望でした。

学生が15名程度参加して、オリジナルのキャラクターを考案。消防署へ最終デザインを届けて消防署側でキャラクターを決定していただきました。

吉澤早絵さん（3年生）作、シロクマをイメージとした「しろ太」がキャラクターとして採用され、9月28日（木）に消防長から感謝状贈呈されました。地域の為にデザイン出来た事に感謝しています。これから市役所や駅、スーパー、図書館、デパートなどで皆様のお目に掛かれる事と思います。



社会福祉学科

大学の隣町にある由仁町の子どもとふれあう保育交流。コロナ禍でもめげずにオンライン交流を続けて7年目！今回は学生が保育園を訪れ、「コロコロゲーム」で遊びました。ルールはドッジボール方式ですがボールは投げずにコロコロと転がします。そんなボールに当たる？と思うでしょう?!ところがワイワイ賑やかな子どもたちの足に当たってしまうのです。ほんの5.6分の遊びですが身体から湯気がでるほど白熱します。遊びの後には『11月16日のイベント』を告知しました。今度は子どもたちを大学に招待するので保育専攻2年生がゲームを企画中です。当日は一緒にお弁当も食べるのでキャラ弁も試作しながら楽しみにしています。交流事業のおかげで机上の学びが生かされる体験ができています。



建築学科

向井研究室所属のゼミ生が、北海道長沼町に建設中のグランピング施設のドームテント組み立てに参加しました。テント棟にはシャワーやトイレ等の水回りも完備、快適に自然を楽しむことができる施設として設計しました。基本計画や模型作りには学生も参加しています。学生たちは電波も繋がりにくいワイルドな環境下で、テントメーカー指導のもと、施工者やオーナーさんと共同で5日間作業を行いました。フレーム組み立ては約1日で完成、その次は膜を張る作業ですが、そこからが最もハードな作業でした！私も含めて皆、手に豆を作りながら、手作業で膜にテンションをかけていきます。学生は設計から施工まで関わりながら、建築の現場体験を深めました。



経営学科

● 経営学科 1年 上野 愛翔
苫小牧中央高等学校 出身

入学した決め手・きっかけ

苫小牧市内の実家から通いながら強い大学で野球がやりたかったこと、スポーツや身体の使い方について深く学べる大学を探していました。星槎道都大学に進学した決め手は高校3年生の時に参加した練習会で雰囲気良かったのと、先輩方も優しく皆練習中は真剣に練習以外では楽しくメリハリのあるこのチームで神宮大会（全国大会）に行きたいと強く思ったからです。

現在学んでいること

健康科学やトレーニング科学では身体の使い方や栄養のこと、自分自身の身体の中身を理解して、いかに良いパフォーマンスが発揮できるよう学んでいます。将来野球をはじめとしたスポーツ関連の就職を目指す自分にとっては必要不可欠な情報が多く、日々刺激を受けています。またこれらのことは普段の野球の練習にも役立っており、今現在レギュラーを狙っている自分でも私生活から気を付けないといけないことなど考えさせられる内容となっています。

就職活動に向けて&将来どのような仕事に就きたいか

将来は社会人野球を目指しています。誰も知らない本州、出来れば関西方面のチームで勝負したいです。そのためにスタメンマスクをかぶって神宮大会に出られるよう日々努力しています。全国の舞台で自分をアピールして、声を掛けてもらえればと思っています。

有名な企業の看板を背負って都市対抗に出場するのが当面の目標です。また、野球以外でもスポーツに関わる仕事がしたいと考えており、そのためにも日々の勉強を頑張っています！



社会福祉学科

● 社会福祉学科 2年 工藤 光樹
札幌北斗高等学校 出身

入学した決め手・きっかけ

中学生の頃から困難な状況に置かれている子ども達を支援したいと考えようになり、児童養護施設で働きたいと思うようになりました。星槎道都大学では社会福祉士を目指しながら保育士の資格を取得することができます。福祉分野を学ぶことで社会生活を送る上でハンディキャップを負った人々に対する支援方法や知識を取り入れることができ、就職の幅が広がるのと共に、オープンキャンパスの際に経験豊富な先生方が手厚く私の目標に沿って説明してくれたので、自分のやりたいことに追求できる大学かなと思い入学を決めました。

現在学んでいること

資格取得のために行う実習の指導が授業のメインになっていて、社会福祉士の国家試験に向けての対策、保育の授業では乳児のオムツ交換や、沐浴などの体験をしたり、実際に子どもたちと交流する会を行ったりしています。保育者になった時を考え充実した会になるよう、みんなで協力してアイデアを出し合いました。

就職活動に向けて&将来どのような仕事に就きたいか

星槎道都大学ではインターシップや実際に企業の方と話すことができる機会が沢山設けられているので、社会経験としてインターシップで福祉ではない企業に行ってみたいと考えています。また保育実習を将来に向けて自分の糧になるような深い学びにしたいと思います。将来はやはり児童養護施設で働いて星槎道都大学で学んだ福祉の知識を活かしながら、子ども達へたくさん愛情と心のこもった指導が出来る先生になりたいです。そのために星槎道都大学の先生や友達の手を借りながら一生懸命頑張っています。



デザイン学科

● デザイン学科 2年 八幡 優希
北海道網走南ヶ丘高等学校 出身

入学した決め手・きっかけ

デザインを学びたかったけれど、今まで基礎や知識を身につけてこなかったので2年制の専門学校ではなく4年制で時間をかけて基礎から学べる星槎道都大学にしました。通っているうちに当時は想定していなかったことへ興味が湧いたりもするので、デザイン以外にも学ぶことができる大学にして良かったと思っています。

現在学んでいること

現在は高校生の頃から興味があった平面デザインや広告デザインなどグラフィックデザインを中心に学んでいます。それと同時に商品パッケージデザインなどプロダクトデザインの分野にも触れる機会を頂くことがあります。また、デザインだけではなく企画を持ち込み、企業さんとお仕事をする経験をする事ができていて、大変勉強になっています。

就職活動に向けて&将来どのような仕事に就きたいか

正直、将来にはついてはまだぼんやりとしか考えていません。むしろ高校生の頃の方が将来のビジョンが固まっていました。今将来のビジョンがぼんやりしているのは、大学生になって色々な経験をさせて頂いて、前より視野が広がっているからだと思います。今はインターンシップ情報を収集してスケジュールを調整している段階です。就職したい企業の目星がつき次第必要な資格等を取得していけたらと考えています。



建築学科

● 建築学科 1年 柳谷 洋斗
札幌龍谷高等学校 出身

入学した決め手・きっかけ

私は中学生の頃から建築関係のお仕事に就きたいと考えていて、初め高校で工業高校に進もうと考えていました。ですが高校ではスポーツの方をとってしまいました。なので、大学では建築を学べる大学を受験しようと考え、北海道唯一の美術学部の建築学科のある星槎道都大学への入学を検討しました。通常の建築学部とは違い、デザインという観点から学べる星槎道都大学は私の将来の建築士像に合致しており、独自の世界観を持ち固定概念を持たない建築士になりたいと思いこの星槎道都大学を選択しました。

現在学んでいること

現在、私は建築での基礎の部分を学んでいます。主に基本的な製図や建築で用いられる建築材料、建築物のデザイン、また北国の建築などについて学んでいます。特に私は建築システム論と言う、建築の構造についての授業に力を入れて学んでいます。建築士になる上では建築については網羅しなければなりません、特に大事だと考える建築構造を重点的に学習しています。学んでいることがほとんど初めてのことなので難しいですが、周りの友達に必死についていこうという気持ちで日々頑張っています。

就職活動に向けて&将来どのような仕事に就きたいか

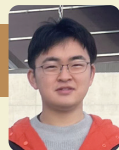
様々な企業の仕事体験やインターンシップなどに参加して自分に合った企業を探し、その企業に入社する為の勉強や、免許を取得したいと考えています。また企業理念などに沿えるように頑張りたいと思います。

そして、将来的には大学卒業後準ゼネコンなどに入社したいと考えています。そこで自分磨きや人脈を増やし、海外などの建築デザインや構造などを用いた建築物を建てるような会社を自立して経営したいと考えています。



インターンシップ体験報告

インターンシップ受入先：北海道庁 宗谷総合振興局



経営学科3年 高鳥 光太郎 星槎国際高等学校（八王子学習センター）出身

参加したのはどんなインターンシップでしたか？

最北端の都市、稚内にある宗谷総合振興局の農務課で農業に関わる施策や農地の視察、育成状況の調査や関係施設の確認などを行う5日間のインターンシップでした。ちょうど新入職員向けのキャリア研修があり、そこに参加させていただきました。

なぜこのインターンシップに参加しようと思ったのですか？

公務員に興味があったことや、家業が農家で、近年の農産業やそれに関わる政策に興味があったため、どちらも学ぶことの出来る農務課で学んでみたいと思い参加しました。

参加して良かったことは何ですか？

希望している公務員の職務内容を学ぶことができたこともそうですが、宗谷振興局の雰囲気や食堂での話など、数字や資料だけではわからない社会を知ることが出来るので、業種に限らずずは参加してみる事をおすすめです。

参加して大変だったことはなんですか？

特に大変だと感じた事は、稚内の気候と緊張で体調が不安定になってしまったことです。私は関東出身なため、寒暖差に弱く体調を何度か崩してしまい、職員の方に送迎をしていただくなどご迷惑をおかけしてしまいました。インターンシップであっても体調を第一にする事が大切だと身に染みて感じました。また、もう少ししっかりとビジネスマナーを学んでおけば良かったとも思いました。

これからインターンシップに参加する学生に向けて一言お願いします。

インターンシップは興味のある職場を体験できる事も魅力の一つですが、職場の雰囲気や昼食時の食堂での話題など、数字や資料だけではわからない社会を知ることが出来るので、業種に限らずずは参加してみる事をおすすめです。

私の就職活動について

内就
定職



北見市役所 内定

経営学科4年 加賀屋 輝
北海道北見北斗高等学校 出身

私は3年生の10月頃から公務員試験の勉強を始めました。野球部に所属しており、それほど多くの時間を勉強に費やせなかったため、少しでも時間を見つけて毎日コツコツ勉強するようにしていました。また、キャリア支援センターの職員の方々には何度も面接練習をしていただき、そのおかげで安心して試験に臨むことができました。今だから言えることですが、もう少し早くから計画的に勉強していれば、もっと余裕を持って試験を受けることができたと思いますし、選択肢も増えたような気がします。現在3年生の皆さんはこれから就職活動を始めるとしていますが、まだ先の事とは考えず、早くから計画的に行動していった方がいいと思います。部活動などで忙しいとは思いますが、頑張ってください。



社会福祉法人聖母会天使の園 内定

社会福祉学科4年 小川 怜
稚内大谷高等学校 出身

私は、3年生の1月頃から就職活動を始めました。大学で開催される学内企業説明会や福祉人材センターで開催される企業説明会にも参加しました。その中から自分が気になった施設へ見学に行ったり、ボランティアに参加したりしました。自分の目で確かめることでわかることもたくさんあり、実際に行ってきたと感じています。いろいろ迷いましたが、キャリア支援センターの職員の方や先生方と相談し、子供の支援に携わる職員になりたいという思いから就職先を決めました。その他にも履歴書の添削や模擬面接などでキャリア支援センターの職員の方にたくさん助けていただきました。そのおかげで自信を持って就職試験に取り組むことができました。皆さんも頼れる人に相談して、就職活動を頑張ってください。



株式会社北一硝子 内定

デザイン学科4年 森本 夢望
北海道札幌白石高等学校 出身

私は手作りの物や一点物の商品がとても好きで、ゼミでも銅器やアクセサリなどを制作してきました。北一硝子を選んだのも、商品に一点物のような魅力があった事と大学生活で学んだ事を活かせることができると感じたからです。就職活動で沢山の企業の説明を聞きましたが、実際にピンと来た企業は片手で数えられるほどでした。そのため、最初はどちらに良いかわかりませんでした。受けたい!と思う企業を見つけるまでが一番大変だと思いますが、まずは説明会に参加して企業について聞き比べてみる事がとても大切だと思います。ある程度行きたい業界や職種が決まってきたら“何月までに就活を終わらせる!”と目標を立てるのもやる気が出て良いかと思うので参考にしてみてください。



大成建設株式会社 内定

建築学科4年 木村 胡桃
北海道科学大学高等学校 出身

私は、2年生の冬頃から就職活動を始めました。大規模建設が可能な大手企業を中心にインターンシップやセミナーに積極的に参加しました。そこでは、インターンシップに参加するだけでも選考があり、WEBテストやエントリーシートの提出が必要になるので、早期対策を心掛けることをお勧めいたします。また、そういった場に参加すると社員の方に質問できる機会があります。思ったことを何でも質問してみると入社後のギャップを減らすことができるのではないかと思います。私は特にWEBテスト対策の勉強には苦労しましたが、就職活動について不安なことがあれば、キャリア支援センターの職員の方に相談してみてください。



2020年 経営学科卒業 淵上 佳輝
堀越高等学校 出身
トヨタ自動車硬式野球部
本社工場 総務グループ防災チーム 勤務

卒業生
インタビュー

現在のお仕事内容をお教えてください。

トヨタ自動車の硬式野球部に所属し、2023年の第19回 アジア競技大会に侍ジャパン社会人代表に選ばれました。この大会で初の国際大会への代表入りをし、3位という結果に終わりました。入社してからコロナ禍などの影響で、野球を思うようにできない時期もありましたが、この部で活動してきたからこそ今だと感じています。野球部での活動時間外やシーズンオフなどは、入社して非常食などの防災備蓄品の管理や各部署で必要な備品の在庫管理などを行う業務をしています。大学と異なるのは、ひと回り以上年上の方々と接する中で、仕事に関する事など積極的に聞き、メモを取り、PC作業をして予定を立てるようになりました。経験不足を会話やコミュニケーションをとることで円滑に物事が進むように心がけています。

大学での学びや経験で現在のお仕事に役立っていることを教えてください。

『成功への道に、失敗はつきもの』とよく聞きますが、同じ失敗やミスをしないうえにどうするのか、次にミスが起こりそうなことを想定する力を大学で身につけました。ミスをしたあとの対応をどのようにすべきかを考え、わからないときはわからないままにしないで考え抜くということを4年間かけて学びました。3年次にゼミの岡島先生から「野球に集中していいんだよ」と言葉をかけていただき、野球に集中するからにはほかのことを絶対に疎かにしないという決意しました。その考えが今も生きています。

学生時代に感じていた「星槎道都大学の良さ」をお教えてください。

人との出会いが一番です。一人暮らしをして、同級生や先輩たちにも恵まれて、ずっと一緒に練習を共にして、信頼できるトレーナーとも出会えました。今も連絡を取り合う仲です。一番僕が成長できた場所であり、影響を受けたのは星槎道都大学の硬式野球部の先輩たちです。憧れでもあり、追いつきたいと思う方々ばかりです。今でも大学時代の先輩を越えたい、もっともっと認めてもらいたいという気持ちで日々練習に励んでいます。

2018年 社会福祉学科卒業 森 佳苗
旭川実業高等学校 出身
西の里きらきら保育園 勤務



星槎道都大学に入学したきっかけを教えてください。

バレーボールを続けたいという気持ちと保育士になりたい、この両方を叶えるために星槎道都大学に進学しました。2つ年上の姉も星槎道都大学に在籍していたので、少人数でアットホームな雰囲気だと聞き、そこに惹かれました。

現在のお仕事についた経緯を教えてください。

母が幼稚園の先生をしていることもあって、子どもの頃から幼稚園の先生になりたいと思っていました。成長すると共に乳児から保育できる保育士に興味が増えました。子どもの気持ちがわかるようになりたいな、と思ったのがこの仕事を選んだ理由です。6年目になり、0歳から全年齢を経験しました。いろんな子どもがいて、私自身、子どもから学ぶことが多くて、実際に働いて改めて子どもの気持ちや行動は面白いと感じます。保育士になってから幼稚園教諭の免許も取得しました。

将来の夢など、今後の目標や展望をお教えてください。

子育ては仕事とは違って大変なイメージがあったのですが、子どもが一歳になった今も子育ては大変だと思ったことはありません。むしろ楽しいです!保育の仕事と通じる楽しさがあります。出産を経て、いち保護者の気持ちを親目線で実感できるようになりました。子どもと離れて保育士として仕事をした後、迎えに行くと子どもがとても喜んでくれるんです。子どもを迎えにくる保護者の気持ちがわかった今、私が受け持つ子どもの状況は、仕事頑張って帰ってきた保護者の方へ細かく共有することを意識しています。保護者に対する気遣いがより深くなったように感じます。保護者によって感じ方は違うとは思いますが、子どもを想う気持ちを想像するしか無かったのが、実感できるようになったな、と思います。職場の保育士の皆さんも、素敵な方ばかりで本当に恵まれた職場環境だと感じます。これからも保育者として、親としても、子どもに寄り添いながら共に成長していきたいです。